

TRY・アングル



コミュニティ・スクールがスタート

風早小学校は、今年度から東広島市立学校初のコミュニティ・スクールとしてスタートすることになりました。そこで、今後は保護者の皆様や地域の皆様に、コミュニティ・スクールとは何か、どのようなことをしていくのか、そして、学校がどう変わっていくのか等について、コミュニティ・スクールだよりを通してお伝えしていきたいと思っております。

コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。地域に開かれ、地域に支えられた、信頼される学校づくりをすすめようとするものです。



風早小学校の目指すコミュニティ・スクールとは・・・

(1) 学校運営協議会の設立 →学校運営の質の向上

保護者や地域住民の代表の方々から構成される学校運営協議会が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を出してもらったりしながら進めていきます。保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させながら、学校・保護者・地域の三者で子どもたちの成長に必要なことを考えて、それに基づいた活動を行っていきます。



(2) 学校支援ボランティア制度の実施 →学校教育の質の向上

学校支援ボランティア等による組織的な活動を行い、学校と地域の双方向の支援と連携のためのシステムづくりを目指します。

- ①学習支援（校外学習・家庭科・生活科・クラブ活動・給食 等）
- ②環境支援（お花・修繕 等）
- ③安全支援（登下校の見守り 等）

※これまでお世話になった関係団体を中心にお声かけし、現在66名の方のご登録をいただいております。

(3) 地域貢献～笑顔創造プロジェクト～の推進

これまで以上に子どもたちが郷土への誇りをもてるよう、地域行事や様々な活動に参加して、多様な経験をする機会を増やします。また、学校という場を地域住民の経験や学習の成果を生かす場、大人の学びの場にしていこうと、地域住民のよりのところとなる学校作りを行います。

- ①総合的な学習の時間ならびに生活科等のリニューアル
※6月7日に地域学習相談会を校内研修として実施し、担任とゲストティーチャーが目指す子ども像の実現に向け、いつ、どのような取組を行うかについて話し合いました。
- ②学校行事への招待
運動会・土曜参観日・学習発表会・メタセコイヤ文化祭・校内持久走大会等
- ③地域行事への参加
神賑行列・町民体育大会・敬老会・万葉火・防災訓練 等

具体的な取組

○生き物学習(学習支援ボランティア)

6月13日(水)に寿大学の方々が1年生のために、地域の水辺の生き物を持ってきてくださいました。水辺の生き物を集めたタッチプールの登壇に、子どもたちは「初めて触ったよ!」と大喜びでした。



○お花ボランティア

6月26日(火)にみずき会の方々5名が来校していただき、季節の花を生けてくださいました。子どもたちは校内の様々な場所に飾られた花に季節を感じると共に、大変癒されていました。



○総合的な学習の時間(3年生)

6月26日(火)に、びわの収穫体験を行いました。子どもたちは、「風早のびわのおいしさをみんなで伝えたい。」との思いから、全員で「風早のびわはおいしいよ!」というシーンをビデオで撮影しました。このシーンの撮影意図を伝えたところ、7月5日(木)NHK「おこのみワイド」で採用され、放映されました。また、4年生が昨年作ったびわキャラクターが商品と共に梱包されています。

